

無限の可能性

南稜祭 合唱コンクール

令和7年度第2学年通信
令和7年11月6日

10月24日（金）に南稜祭（午前の部は合唱コンクール、午後の部は文化祭）を行いました。限られた時間の中で南稜祭に向けてたくさんの努力が見られました。特に、合唱コンクールへの取り組み方は昨年に比べて立派でした。指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心に、自分たちで指示を出し合ったり、改善点を相談したりする様子など、それぞれの学級での意気込みが感じられました。また、休み時間や給食中でも合唱曲が常に流れている学級もありました。それもまた、先生が流すのではなく、自分たちですぐで行っている姿に感心しました。いよいよ本番。歌う人、聴く人も緊張感に包まれながらのコンクールになりました。入場していく人の少し固い表情や、退場していく人のやり切った顔など、一人一人それぞれ違う表情が合唱コンクールでは見られました。また、何よりも今から歌おうとする人を一生懸命応援しようとする大きな拍手、歌い終わった学級を心から称える温かな拍手に包まれるような合唱コンクールになったことに私は感動しました。コンクールである以上、金賞になった学級、金賞を取れなかった学級があります。しかし、どの学級にもその学級にしか出せないカラーや雰囲気があります。この合唱コンクールで、その学級のよさは十分發揮できたと思います。それは、歌っている君たち本人がいちばん感じたことかもしれません。その気持ちを大事にしてください。

最後に皆さんに一言。学級のために、伴奏をしてくれた人がいる、指揮を振ってくれた人がいる、学級の曲を紹介してくれた人がいる。誰よりも時間を使って練習し、心を奮い立たせてあの場に立っていた人がいることを忘れないでください。また、合唱コンクールを陰で支えてくれた実行委員がいます。授業後に残って、司会練習をしている姿もありました。学級のため・学校のために動いてくれた全員に大拍手です。その人たちの活躍があって南稜祭が大成功したと思います。よくがんばりました。



【合唱コンクール結果】

- 金賞：2年5組 ○銀賞：2年4組
- 指揮者賞：2年1組 早崎千彩 ○伴奏者賞 2年1組 北河光耶姫

職場体験学習

10月29日（水）に職場体験学習を行いました。

当日は、朝早くから集合し、渥美線からJRへと乗り換え、バスでラグーナテンボスへ向かいました。渥美線では朝の通勤、通学ラッシュと重なり、満員電車の大変さを感じたと思います。そんな中でも、一人一人が節度を守って電車に揺られながら移動班からはぐれないように行動している姿を見て、とても感心しました。なかなかできない経験ができたと思います。また、首都圏では、毎日このように移動をして、仕事に向かっている人もいるということです。働くということは、単純に仕事をするということだけではなく、移動手段や移動時間も含めて選択していく人もいるかもしれません。

ラグーナテンボスでは、前半仕事、後半ゲストといったように前後半で活動が変わりました。ゲストをしている人は、全力でゲストを楽しむ姿がたくさん見られ、乗り物に乗ったり、散策をしながら班で会話をしたりするなど、普段では味わうことができない時間を過ごしたと思います。

皆さん方が仕事をしている様子を陰からこっそり見させていただきました。やはり、いつもの表情ではなく、緊張感がある雰囲気がありました。担当のかたの話を聞く姿勢、ゲストに対する挨拶、無線でやりとりする姿、園内を清掃する様子、窓口でマイクを使ってゲストへの対応をする姿など、たくさんの新たな一面を見させていただきました。学校の先生ではないかと接することが、これほど貴重な時間になるんだなと実感しました。一人一人活動内容は違いましたが、「働くこと」ということが少しでも感じることができた一日になったと思います。この経験を、これから学校生活にもいかしていけることを期待しています。

